

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	治療室内 CT を用いた線量分布解析
	研究目的	骨軟部肉腫治療において In-room CT を用いることで腫瘍線量が治療計画通りに投与されているかを評価した。
	研究対象者	重粒子線治療を行なった骨軟部腫瘍患者
	研究期間	西暦 2018 年 10 月 26 日 ~ 西暦 2018 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(治療計画 CT 画像、治療室内 CT 画像) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	吉野 慎一
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	重粒子線治療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	帝京大学医学部附属溝口病院 放射線科 多湖 正男 駒澤大学大学院 医療健康科学研究科 診療放射線学専攻 吉川 宏起 奥山 康男